

英語科

昨年度の授業改善プランの検証

- ・ペアワークや自己表現などの言語活動を積極的に取り入れ、英語で表現することへの苦手意識を軽減していくことができた。
- ・英語でのやりとりを意識的に行い、「聞く力」と「話す力」の定着を図ることができた。
- ・単語テストや基礎英文法の演習を通して、基礎学力の定着を図り、一定の成果をあげた。
- ・自由英作文や自己表現の活動を通したが、初見の英文に対して苦手意識が見える。

今年度の学力調査について

分

<主体的に学習に取り組む態度>

全学年ともに正答率は目標値をやや下回った。

<思考・判断・表現>

全学年ともに、聞くこと・読むこと・書くこと全てにおいて、目標値と同等もしくはやや下回った。

析

<知識・技能>

全学年ともに、聞くこと・読むこと・書くこと全てにおいて、目標値と同等もしくはやや下回った。

課

<主体的に学習に取り組む態度>

授業における英語学習への取り組みの姿勢は、昨年度より良くなった。しかし、学校外での予習や復習の習慣が定着していない生徒が一定数いる。

<思考・判断・表現>

「書くこと」において、テーマにそってまとめた内容で説明する文を書くことに苦手意識が強い。

題

<知識・技能>

「読むこと」において、さまざまな英文を読み取る力はあるが、初見の英文の理解において概要を把握したり、要点を理解したりすることに課題がある。

授業改善のポイント

<主体的に学習に取り組む態度>

教科書に準じた身近なものを題材として扱い、ペアやグループワークなどの言語活動を通して、英語を話せた、聞いたという達成感を味わえるようにする。

<思考・判断・表現>

適切な英文を使って表現する力を育成する。そのために、自己表現やパターン練習、コミュニケーション練習、テーマ毎の英文を書く訓練、即興的な発話練習等に取り組んでいく。

<知識・技能>

基本的な英文法の理解の向上のため、概要把握や詳細の理解を目的とした読む練習を通して読解力の向上を図る。単語テストや単元テストをしながら基礎・基本的な知識と技能の定着を図る。また、発話の機会を多く設定し、発表練習に力を入れる。